

2027年国際園芸博覧会関係閣僚会議（第1回）
議事録

日時：令和5年4月28日（金）8:15～8:25

場所：官邸4階大会議室

出席者：岸田 文雄 内閣総理大臣
松野 博一 内閣官房長官
斉藤 鉄夫 国際園芸博覧会担当大臣
渡辺 博道 復興大臣
野村 哲郎 農林水産大臣
谷 公一 内閣府特命担当大臣（防災）
岡田 直樹 国際博覧会担当大臣
西村 明宏 環境大臣
齋藤 健 法務大臣
山田 賢司 外務副大臣
伊佐 進一 厚生労働副大臣
中谷 真一 経済産業副大臣
築 和生 文部科学副大臣
国光 あやの 総務大臣政務官
宮本 周司 財務大臣政務官
小野田 紀美 防衛大臣政務官

（議事録）

○斉藤国際園芸博覧会担当大臣 ただ今から、「2027年国際園芸博覧会関係閣僚会議」の第1回会合を開催いたします。

本日はご多忙の中ご参集いただき、誠にありがとうございます。今回の閣僚会議では、「2027年国際園芸博覧会の準備状況」について、ご議論をいただきます。

まず、会議の開催にあたりまして、松野内閣官房長官から御挨拶を頂きたいと存じます。よろしく願いいたします。

○松野官房長官 2027年国際園芸博覧会は、昨年11月に「国際博覧会に関する条約」に基づく認定を取得し、大阪・関西万博に続く、我が国で7例目の国際博覧会として開催することが決定しました。本博覧会では、約半年間の開催期間で、国内外から多くの方に訪れていただけるよう機運醸成を図っていくことが必要です。また、国際的な大規模行事と

して、セキュリティや安全安心の確保をはじめ、様々な観点から準備を進めていく必要があります。

そのため、本博覧会の円滑な準備及び運営に係る重要事項であって、国の施策に関連するものを協議するため、2027年国際園芸博覧会関係閣僚会議を開催することといたしました。

本博覧会の成功に不可欠な円滑な準備及び運営に向け、関係府省庁の緊密な連携をお願いいたします。

○斉藤国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。次に、国際園芸博覧会担当大臣の私から「2027年国際園芸博覧会の準備状況」についてご説明いたします。

資料2の1ページ目をご覧ください。本博覧会は、最上位の国際園芸博覧会であり、条約に基づく認定を受けた国際博覧会です。参加者数は、1,500万人を目標としております。

2ページ目をご覧ください。開催場所の旧上瀬谷通信施設は、米軍施設として約70年間にわたって土地利用が制限されてきました。会場の大部分は、博覧会后、都市公園として活用されます。

3ページ目をご覧ください。本博覧会は、花や緑との関わりを通じ、自然と共生した持続可能で幸福感が深まる社会の創造に寄与することを目的としています。

4ページ、5ページ目をご覧ください。会場は、自然環境が有する多様な機能を効果的に取り入れ、植物で驚きや感動を与え、植物への興味・関心を促す展示などを行ってまいります。

6ページ目をご覧ください。本博覧会の開催に向け、これまで国内法の整備等を着実に進めてまいりました。

7ページ目をご覧ください。本博覧会の準備及び運営は、「公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会」が行います。

8ページ目をご覧ください。今年2月には開催1500日前を迎え、「GREEN×EXPO 2027」を正式略称とするなどの発表を行いました。

9ページ目をご覧ください。これまで博覧会協会において、公式ロゴマークの作成を進めておりましたが、本日をもって、こちらのマークを公式ロゴマークとして公表・活用してまいります。お手元にご用意した、ロゴマークを印刷したお花をご覧ください。あの、目の前の四角い箱でございます。これを専用アプリのカメラで読み取ると、本博覧会の動画をご覧いただけます。このような最新技術も活用した広報を行ってまいります。

10ページ目をご覧ください。万全の準備を進めるためには、会場整備、円滑なアクセスの確保、セキュリティや安全安心の確保など、様々な観点から政府としての取組を進める必要があります。関係府省庁でより一層緊密に連携し、政府一丸となって開催に向けた取組を具体的に進めてまいります。

私からは以上です。

○斉藤国際園芸博覧会担当大臣 それでは、御発言のある方はお願いいたします。野村農林水産大臣お願いします。

○野村農林水産大臣 先ほど、官房長官から、園芸博覧会の円滑な準備及び運営に向け、関係府省の緊密な連携についてご発言がございました。

今回の博覧会は、「幸せを創る明日の風景」をテーマとし、花やみどりに加え、食や農、SDGsにも範囲を広げた園芸博「グリーン・エキスポ」です。

農林水産省としても、このような園芸博覧会の趣旨に鑑み、我が国の花きや花き園芸文化の素晴らしさに加え、最新のスマート技術や、日本食の魅力なども世界にアピールしたいと考えています。

また、園芸博覧会の円滑な準備及び運営に向けて、農林水産省としては、国産花きの生産・供給体制の確保や輸入花きに係る植物検疫について、しっかりと取り組んでまいります。

その際、国土交通省をはじめとした関係府省、博覧会協会、横浜市や神奈川県、さらに花き産業の関係者と密接に連携して、開催準備に万全を期してまいります。

○斉藤国際園芸博覧会担当大臣 続いて、岡田国際博覧会担当大臣お願いします。

○岡田国際博覧会担当大臣 国際博覧会担当大臣として、大阪・関西万博の開催準備で得られたノウハウを園芸博でもご活用いただけるよう、しっかりと連携してまいります。

また、大阪・関西万博まであと2年となり、全国的な機運醸成に尽力しているところですが、万博が開催する2025年は園芸博の開催2年前となります。

万博会場の内外で園芸博のPRを行うなど、万博を園芸博の機運醸成に活用するという点でも連携できないかと考えており、具体的な内容を検討してまいります。

○斉藤国際園芸博覧会担当大臣 続いて、中谷経済産業副大臣お願いします。

○中谷経済産業副大臣 経済産業省としては、開幕まで2年を切った大阪・関西万博の開催に向けて、各関係省庁の協力の下、経済界等に対して協力を呼びかけ、官民一体となった取組を進めております。

今月13日には、起工式が開催されました。岸田総理や岡田大臣をはじめ、官民合わせて250名近くの方々に参加いただき、いよいよ万博の会場建設工事が本格化していくことを改めて実感し、気を引締め直しました。

引き続き、会場整備や会場運営、機運醸成など、大阪・関西万博の開催に向けた取組を加速してまいります。そして、ここで得られた知見や成果を横浜園芸博覧会につなげ、両博覧会で連携して機運醸成を図ってまいります。

斉藤大臣をはじめとする関係者の皆様と協力し、我が国で開催される博覧会の成功に向けて、しっかりと取組を進めてまいります。

○斉藤国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。それでは、ここでプレスが入ります。

(報道関係者入室)

○斉藤国際園芸博覧会担当大臣 最後に岸田内閣総理大臣から御指示を頂きたいと存じます。よろしくお願いたします。

○岸田内閣総理大臣 2027年に横浜で開催予定の国際園芸博覧会は、大阪花の万博以来、我が国で37年ぶりに開催される最上位の国際園芸博覧会です。

本日午後に「みどりの式典」が予定されていますが、本日の第1回閣僚会議をスタートに、4年後の2027年3月19日の開幕に向けて準備を本格化し、本博覧会を「みどり」に関わる多くの方々に夢や希望をもたらすものとしたと考えています。

開催に向けて、本日、本博覧会のシンボルとなる、こちら、私の後ろにあります、こちらの公式ロゴマークを公表します。

本博覧会は、気候の変動や生物多様性の損失といった地球規模の課題に対し、みどりと共に生きていく我が国の姿勢を世界に発信する重要な機会であり、日本を代表する園芸家や建築家、アーティストの皆さんのご協力を得て、最新技術も活用しつつ、あらゆる世代の方々や海外から来られるの方々にとって、「みどり」にかかわる魅力的なコンテンツの具体化を図ることが必要です。

このため、本博覧会の成功に向け、政府として、担当大臣である斉藤大臣を中心に関係閣僚で一丸となるとともに、博覧会協会や神奈川県・横浜市など関係自治体、経済界なども含め、オールジャパンで連携し、開催準備に万全を期してください。

その際、2025年大阪・関西万博と連携し、共に機運醸成を図り、大阪・関西万博の成果を本博覧会につなげる取組もお願いします。

これらの取組を具体化するため、8月中を目途に、博覧会の準備及び運営に関して政府として取り組むべき対策の「基本方針」を取りまとめてください。以上です。

○斉藤国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。それでは、プレスの方は御退出をお願いいたします。

(報道関係者退室)

○斉藤国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。本日の第1回会議はここで閉会とさせていただきます。

(以上)